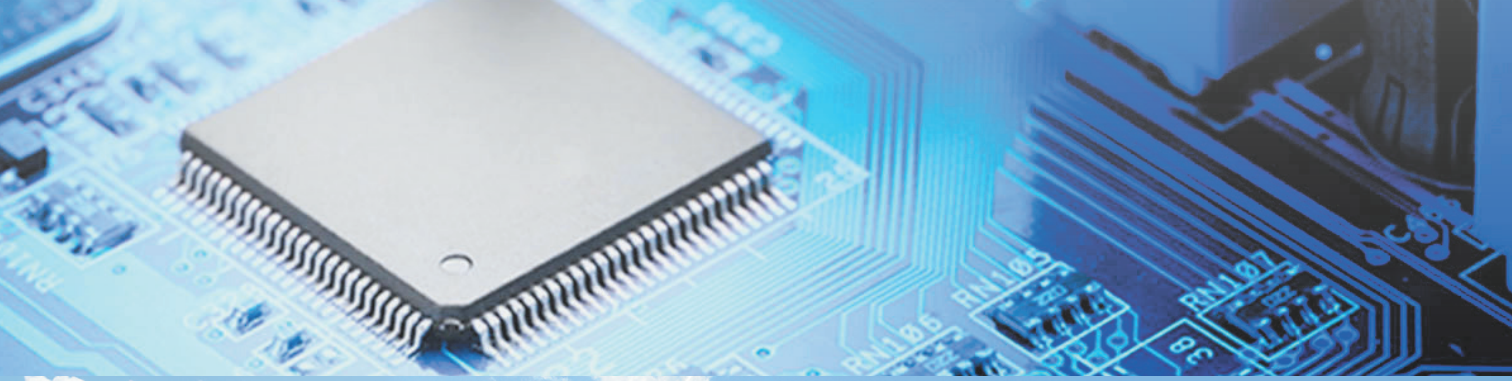


Restar Vision

中間株主通信

2024年4月1日～2024年9月30日

証券コード：3156

株式会社レスター

ご挨拶

当社は2024年4月1日に純粋持株会社から事業会社へ移行し、同年5月に2019年の経営統合後初めてとなる中期経営計画を発表いたしました。2027年3月期までの成長に向けた基本方針に基づき、4つのビジネスユニット(BU)体制の確立を目指しております。事業の一層の拡大と収益力の向上に取り組み、中期経営計画の達成に向けた施策を推進してまいります。

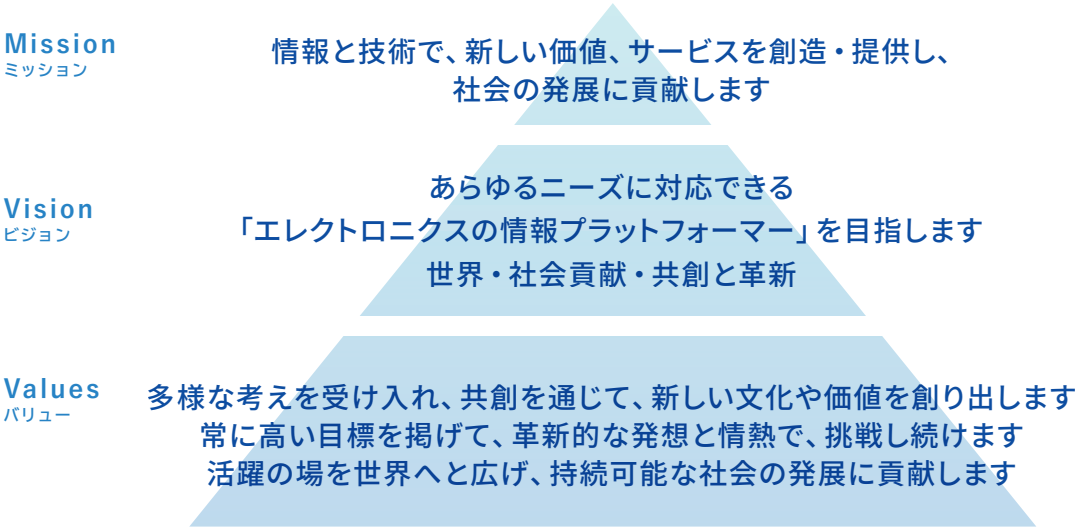
中期経営計画の柱である4つのBU体制確立のため、同年9月にはPCIホールディングス株式会社を連結子会社といたしました。両社の強みを生かし、展開するハードウェア・ソフトウェアのソリューション提案力の向上及び顧客への直接的なビジネス機会の増加による企画提案などの上流プロセスへの展開を加速させてまいります。

また同年7月に、デバイス事業におけるラインカードの拡充や材料系拡販におけるマーケティング強化を図る目的で、デクセリアルズ株式会社との合弁会社であるRestar Dexerials Hong Kong Limitedが当社の連結子会社として始動しました。同年10月には新光商事株式会社との間で、資本業務提携契約の締結及び第三者割当による自己株式の処分を行いました。当社が進めるロングテール戦略において、それぞれの経営リソースの共有により技術力・提案力を一層強化してまいります。

今後もお取引先の皆様とともに様々な社会課題の解決に取り組むことによって、ステークホルダーの皆様との信頼関係をさらに高め、サステナブルな社会の発展に努めてまいります。引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社レスター　代表取締役一同

経営理念

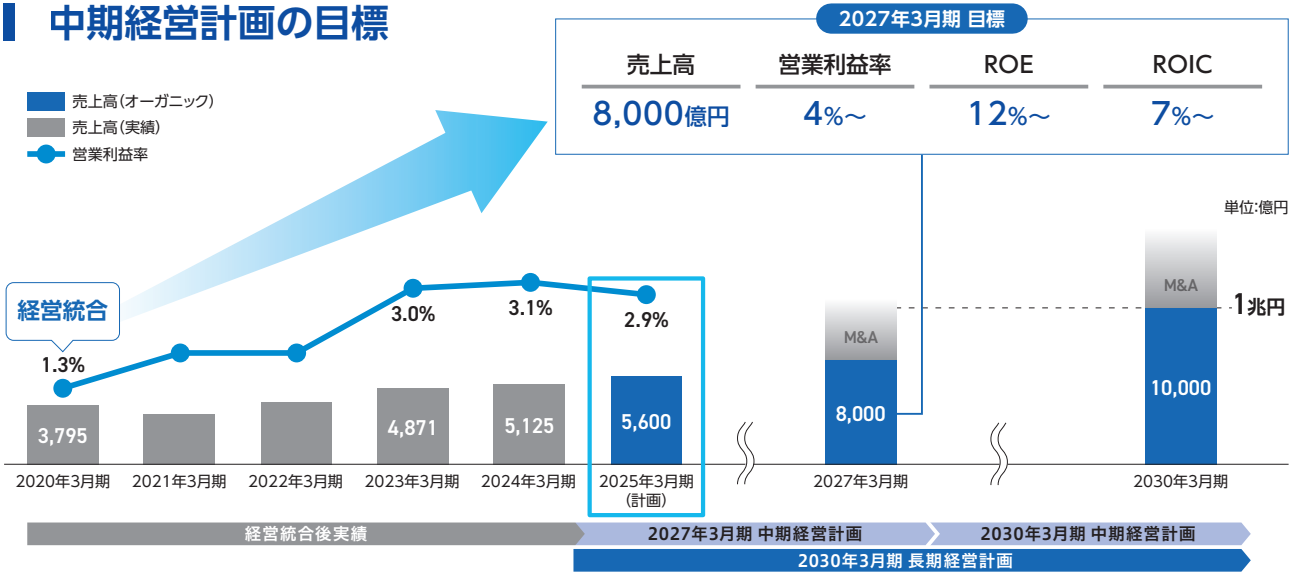


基本方針

目指す姿　お客様のすべての課題をエレクトロニクスで解決する
1兆円規模の「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」

1	既存事業の成長	パートナーシップによるバリューチェーンの強靭化と収益力強化
2	事業領域の拡大	“エンジニアリング”と“IT&SIer”の事業化
3	事業シナジーの追求	あらゆる商材・情報・技術を繋ぐプラットフォームの構築

中期経営計画の目標



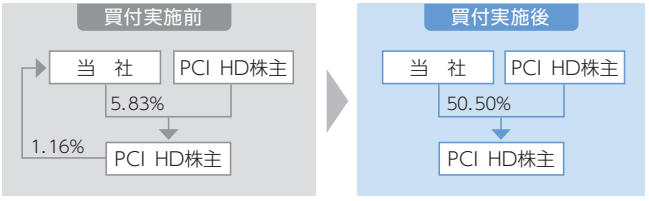
成長戦略

レスターグループは、2027年3月期までの成長に向けた基本方針に基づき、右図の4つのBU体制の確立を目指し、事業の一層の拡大と収益力の向上を図り、中期経営計画の達成に向けて取り組んでまいります。

IT&SIer BU　成長戦略❶　IT&SIerBUの体制構築

2024年8月に、PCIホールディングス株式会社※と新たに資本業務提携の契約を締結し、普通株式の公開買付けを行い、2024年9月に連結子会社化いたしました。
同社は新たなBUであるIT&SIerBUの中核機能を担い、ソフトウェア開発力を中心にレスターグループにおける付加価値の創出に取り組みます。

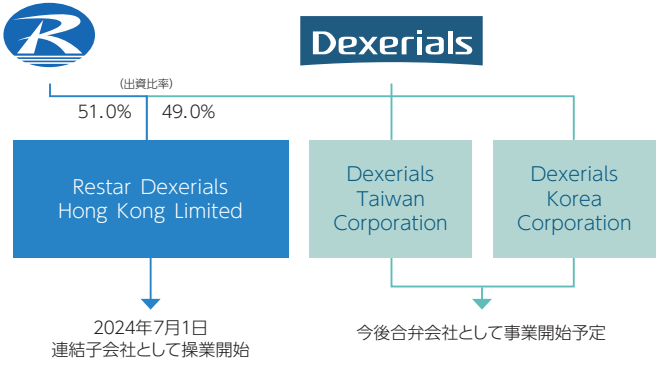
■公開買付けについて



※東京証券取引所スタンダード市場上場（証券コード 3918）

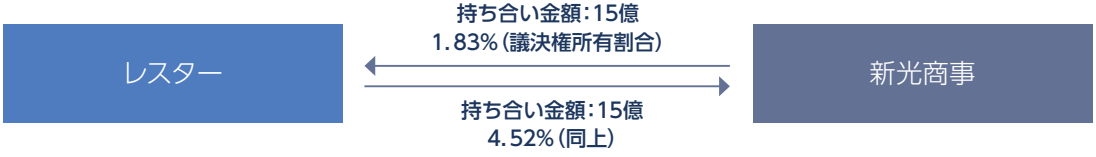
デバイスBU　成長戦略❷ グローバル対応強化とラインカードの拡充

デバイス事業におけるケミカル商材のラインカードの拡充やマーケティング強化を図る目的で、2023年12月にデクセリアルズ株式会社との間で戦略的パートナーシップを形成いたしました。
車載及びフォトニクス分野の新たな事業機会創出と、アジア地域のローカルビジネス拡大を目指し、2024年7月にRestar Dexerials Hong Kong Limitedを両社の合弁会社とし、当社の連結子会社として販売オペレーションを開始いたしました。



デバイスBU　**成長戦略❸ 経営リソースの拡大によるアカウントプランニングの強化**

デバイスBUの重点施策である、顧客や仕入先の市場環境、経営戦略、重要課題を把握し、最適なサービス提供を行うアカウントプランニングの強化を目的として、2024年10月に新光商事株式会社との間で株式の持ち合いを実施いたしました。双方の成長に資する施策を推進していく上で、協業によるシナジー効果の創出を図ってまいります。



財務戦略

◆ 財務戦略①　株主還元・配当

株主還元方針

・安定的な株主還元の充実、成長領域への積極的な投資と財務健全性のバランスを考慮

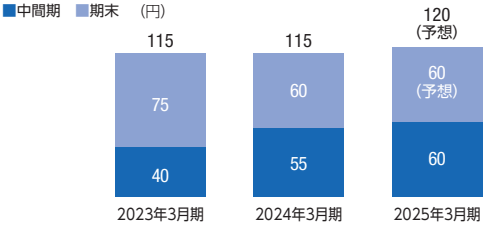
・連結株主資本配当率（DOE*）4%以上

・安定的且つ継続的に増配を実施

・余剰資金については機動的な自社株買い

*DOE（Dividend on Equity）：株主資本配当率＝ 配当額÷株主資本 ＝ 配当利回×PBR

1株当たり配当金



◆ 財務戦略②　自己株式の取得を実施

経営環境の変化への対応を目的に自己株式を取得いたしました。新光商事との資本業務提携において第三者割当として自己株式の処分も行いました。

<取得の内容>
(1) 取得対象株式の種類　当社普通株式
(2) 取得した株式の総数　2,500,000株
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合　8.31%）
(3) 取得日　2024年10月1日

◆ 財務戦略③　資金調達（劣後ローンの活用）

中期経営計画の成長戦略を遂行していく中で、財務体質の維持・強化及び資本効率の向上を目的とし、劣後ローンによる資金調達（総額100億円）を行いました。さらなる成長に向けて戦略的な資金調達を今後も進めてまいります。

CEATEC2024（アジア最大級のエレクトロニクス国際展示会）に出展

レスターグループは、グループの総合力で社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献することを目指しています。「CEATEC2024」では社会課題に対して、エレクトロニクスやエネルギーの分野などにおいてレジリエンスを備えた持続可能な社会を実装するためのトータルソリューションをご紹介しました。

社会課題	課題解決のためにレスターグループが提供するソリューション
人手不足	搬送ロボット / 人流探知・災害監視 / 全方位カメラ運用 / エッジAIカメラ / エッジAIソリューション
ITインフラの技術革新	AIサーバー / 法人向けPC / 半導体ラインナップ / 半導体信頼性試験受託サービス
脱炭素	電気の地産地消 / オンサイトPPA / 空調節電・省エネ
安全で快適なまちづくり	ドローンインフラ点検 / 防災・警報ドローン / 巡査点検自動化 / テキスト音声化 / 対話型キャラクターエージェント

～CEATECトークステージ～

CEATEC開催中に当社のグループ事業開発副本部長 吉本がトークステージ「AI、IoTの進化に伴うインターフェースの現在地と未来」に登壇しました。AIやIoTの著しい進化に伴うテクノロジーの現在地と未来について他登壇者とともにディスカッションを行いました。

トークステージの様子

当社ブースの様子（上記の社会課題解決へのソリューション展示ブース）

業績ハイライト（2025年3月期中間期）

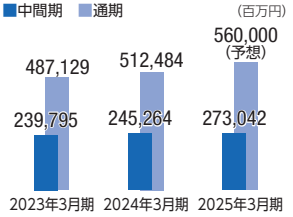
● 売上高　連結子会社化(2023年7月株式会社レスターWPG、2024年1月株式会社レスターエンベデッドソリューションズ、2024年7月Restar Dexerials Hong Kong Limited)したことやデバイス事業における民生の高機能カメラ向けやPC関連さらには車載向けを中心とした売上の伸長、加えてスマートフォン市場の回復に伴うEMS事業の業績改善などにより増収

● 営業利益　主にEMS事業やエコソリューション事業における増収などによる増益があったものの、デバイス事業における産業機器向けの減収や急激な円高の影響により減益

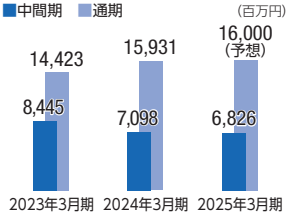
☑ デバイスBU
- デバイス事業 ： 産業機器市場の回復が遅れている一方、連結子会社化が寄与したことや民生の高機能カメラ向けやPC関連さらには車載向けを中心とした売上の伸長により増収
- EMS事業：主力のスマートフォン向けが引き続き好調に推移し増収
- セグメント利益 ： EMS事業における増収による増益はあったものの、産業機器市場の回復が遅れていることに加えて急激な円高の影響もあり減益

☑ システムBU
- システムソリューション事業 ： オフィス移転需要などで企業向けビジネスが伸長したものの、放送関連向けや出入管理端末などのシステム機器における販売が低調に推移したことや、センサー関連ビジネスの一体強化を図るため、イメージセンシングビジネスをデバイス事業に移管したことなどにより減収
- エコソリューション事業 ： 新電力における電力販売先の拡大及び国内外における太陽光発電所の拡大やPPA(電力販売契約)の新規契約の増加もあり増収
- セグメント利益：システムソリューション事業の減益があったものの、エコソリューション事業の増収により増益

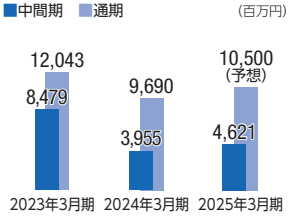
売上高



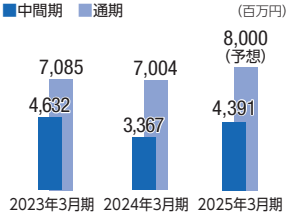
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



※全社の合計値はセグメント間調整を含んでおります。

セグメント別業績ハイライト

(百万円)

	2024年3月期 中間期		2025年3月期 中間期			
	売上高	セグメント利益	売上高	増減率	セグメント利益	増減率
デバイスBU	226,620	5,957	253,609	11.9%↑	5,199	12.7%↓
システムBU	18,643	2,243	19,433	4.2%↑	2,484	10.8%↑
連結業績	245,264	7,098	273,042	11.3%↑	6,826	3.8%↓

※前年同期比の↑は増加、↓は減少の意味です。

会社情報

会社概要

(2024年9月30日現在)

社名	株式会社レスター
本社所在地	東京都港区港南二丁目10番9号 レスタービルディング
営業開始日	2019年4月1日
資本金	43億83百万円
従業員数	連結 4,743名　単体 1,012名

役員

(2024年9月30日現在)

代表取締役会長兼社長	今野邦廣	取締役 常勤監査等委員	鈴木俊幸
代表取締役副社長	山口秀哉	取締役 常勤監査等委員	今野剛実
代表取締役副社長	朝香友治	取締役 監査等委員(社外)	手塚仙夫
代表取締役専務	今野宏晃	取締役 監査等委員(社外)	伊達玲子
取締役(社外)	戸川　清	取締役 監査等委員(社外)	笠野さち子
取締役(社外)	尹　晋赫		

ビジネスユニット責任者

(2024年9月30日現在)

デバイスビジネスユニット	柴田真裕
システムビジネスユニット	今野宏晃

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当:毎年3月31日 ※中間配当を実施するときの基準日は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.restargp.com/ir/other/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
(連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 9:00～17:00(土・日・祝日を除く)
郵便物送付先	〒137-8081　新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部

株式の状況

(2024年9月30日現在)

①発行可能株式総数	57,000,000株
②発行済株式の総数	30,072,643株

※上記には自己株式4,690株が含まれております。

③株主数	9,110名

大株主の状況(上位10名)

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社ケイエムエフ	6,376	21.2
株式会社エスグラントコーポレーション	2,487	8.27
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,243	7.46
みずほ信託銀行株式会社　退職給付信託　ソニーグループ003口 再信託受託者　株式会社日本カストディ銀行	2,234	7.43
SBIホールディングス株式会社	1,000	3.32
株式会社三菱UFJ銀行	818	2.72
みずほ信託銀行株式会社　退職給付信託　ソニーグループ008口 再信託受託者　株式会社日本カストディ銀行	717	2.38
株式会社みずほ銀行	692	2.30
レスター従業員持株会	661	2.20
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	622	2.07

※当社は自己株式4,690株を保有しております。
※持株比率は自己株式を控除して計算しております。
※9月30日時点の株主名簿に基づいております。

最新情報は当社Webサイトをご覧下さい

当社Webサイトでは、当社をよりご理解いただけるよう、経営理念や事業内容に加え、広報・IR、サステナビリティ関連・ESG/SDGsや各種ニュースなど、様々な情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧下さい。

https://www.restargp.com/

株式会社レスター　検索

FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C022915
VEGETABLE OIL INK
GREEN PRINTING JPPI P-A10007 この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。
UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。